

2026年度 帰国生入学試験問題

国語

(45分)

〔注意〕

- 1 この問題冊子は、試験開始の合図で開くこと。
- 2 解答用紙は、問題冊子にはさんであります。試験開始の合図があったら、解答用紙を取り出して受験番号と氏名を記入し、受験番号をマークすること。
- 3 解答は全て解答用紙に記入しなさい。
* 字数制限のある場合は、特別な指示がない限り、すべて句読点や「」（ ）などの記号を含んだ字数として解答すること。
- 4 印刷が不鮮明な場合は申し出ること。
- 5 問題冊子の余白等は自由に使って構いません。
- 6 試験終了後、解答用紙のみ提出し、問題冊子は持ち帰ること。

東京都市大学等々力中学校

一 次の――線の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直して答えなさい。

- 1、美しい音色に耳を澄ます。
- 2、選挙の告示をする。
- 3、規模を拡大する。
- 4、官舎に入る準備をする。
- 5、健気な姿が話題になった。
- 6、地名のユライを調べる。
- 7、疑うヨチがない。
- 8、身体ソクテイを行う。
- 9、ケイトウ的なつながりを説明する。
- 10、自分のおい立ちを話す。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「お宅のシステムなんですか」

「ソーラー、ボイラー、それともおなら」

野沢佑が担任の先生に呼び止められたのは、替え歌を歌いながら、全力疾走しているときだった。一階と二階をつなぐ階段の途中。

「野沢くん」

振り返ってみると早田先生で、^①佑の全身は凍りついたようになった。一緒に走っていた長尾一平が隣で、

「やっぱ」

とつぶやく。

廊下や階段は、走ってはいけなくなっている。

A、歌っていたのは、歌うたびに女子たちに「下品」だと糾弾される、三浦総合シ

システムのCMソングの替え歌だ。

呼び止めた早田香苗^{かなえ}先生は、佑のクラスの担任で、学校の中でいちばん怖い先生だ。佑は思わず目をつぶった。

「走ってすみません」

「下品な歌もすみません」

佑と一平は目をつぶったまま、Bと頭を下げた。

が、先生の口から出てきたのは、意外な言葉だった。

「ちょっとお願いがあるんだけど」

目を開けると、早田先生の穏やかな顔が見えた。階段を上ってくる。

「なんですか」

かっちりと視線が合った。同じ段に立った先生の視線は、五年生の佑よりもちょっと低いのだが、思わず敬語になってしまう。

早田先生は若い女の先生だ。丸顔でおかっぱ。身長は百五十センチくらいで、小学生に間違われることもある。それなのに、ものすごい圧力があるのは、目が鋭いからだ。児童がルールを破ったり、ふざけすぎたりするときに出るひとにらみ。早田先生からCのは、怒鳴られるよりも、げんこつをくらうよりも、ずっときく。

それは先生が、柔道の有段者であるということと、関係があるのかもしれない。子どもころから道場に通っていたという先生は、もちろん黒帯で、高校時代にはオリンピックの強化選手に選ばれたこともあるという。今も、小学校で柔道クラブの顧問をやっているが、六年生の大きな男子はもちろん、男の先生だって、投げ飛ばしてしまう強者^{つわもの}だ。

「武道は体の力じゃないのよ。気の力なの」

先生は言うけれど、確かにこの小さな体には、なにかよくわからないものがみなぎっている気がする。そしてそれをときどき、ビームのように放出させるのだ。目から。だから早田先生のにらみは恐ろしい。

「レポートをしてほしいのよ」

早田先生はビームの出ていない目で、佑を見た。

「レポート？」

「あの、芸人さんとかがやるやつ？」

② 佑はげんに思ったが、一緒にいた一平は色めいた。一平の将来の夢は、人気芸人になることだ。そのために、高校を出たら地元の芸能事務所に入ると決めている。計画も着々と進めていて、事務所併設^{へいせつ}の専門学校の入学案内も、すでに手に入れている。

けれども、早田先生はちよつと首を傾^{かし}げた。

「うーん、それとはちよつと違うかな。レポートを書いてもらいたいの」

「なんだあ」

一平は残念そうに肩をすくめ、^③ 佑のほうは顔をしかめた。書くという言葉に引かかったのだ。

「野沢くん、この間の日記にデイサービスのことを書いていたでしょう？」

日記は、五年三組のルールだった。毎日書いて、毎日提出。ルールを破ればにらまれる。

「あ、はい」

佑には、七十五歳の祖父がいるが、このところ調子が悪くなり、デイサービスを利用することになった。その見学に行く両親と祖父に、たまたまついていったのは先週の土曜日だったか。それを日記に書いたのだ。ほかに書くこともなかったし。

うっすらと思いだすと、

「もうすぐ夏休みでしょ。だから休み中に、デイサービスの様子をなるべく詳しくレポートしてほしいの。どんなところとか、どういう人たちがいるのかとか。それを二学期にみんなで勉強できたらな、と思っているのよ」

先生はうきうきと声を弾ませた。が、

「えーっ」

佑はお腹の底から、げんなりした声を出してしまった。文章を書くのは苦手なのだ。幸い日記の宿題には、ページ数の制約がないので、一行日記と自分で決めている。デイサービスの日記も、

「今日おじいちゃんのデイサービスについていった。いろんな人がいた。」

たぶんこんなものだったと思う。それなのに、レポートなんて。

「無〜」

心からの拒絶の声が出かけた。が、次の瞬間、声は口の中に戻った。出かけたのだ。先生の両目から D が。

「わ、わかりました」

気押^けされたように、佑はうなずいた。

「そう、よかった。じゃあそのレポートを野沢くんの自由研究ということにしましょう。できれば写真も撮^とってくれと助かるわ。デイサービスには、先生からお願^{ねが}いしておくから」

早田先生は出そうになったビームを引っ込めて、にこつと笑った。佑は苦笑いを返すしかなかった。

「すごい目力ね」

夕食のとき、その話をする、母はほれぼれしたように言った。^④

「目力どころじゃないよ。あれは、ビームだよ、催眠術のビームだ」

佑は鼻息を荒くして訴えた。うつかり引き受けてしまったものの、今、まさに深い後悔の中にいた。やっとビームの催眠術が解けたのだろう。冷静になって考えてみると、やっぱりごめんこうむりたい。なにしろ夏休みは宿題が多いのだ。テキストや漢字の書き取り、読書感想文や工作もやらなくてはならない。それに加えて、自由研究とは。自由研究は、するもしないも自由だから、これまで佑はしない自由を選んできた。

「いっつもなんだよ。早田先生からにらまれると、みんな言うことをきいちゃうんだ。あれ、絶対目からなんか出してる」

佑は口いっぱいに、メンチカツをほおぼりながら言いつのつた。今日のメインディッシュは、宮本精肉店特製のメンチカツだ。パート帰りに、母が買ってきた。

佑の家は四人家族。両親と姉と佑。会社員の父は帰りが遅く、母は近所のクリーニング店でパートをしている。

「それも条件反射の一種かな」

姉の理子は、掛けている眼鏡の真ん中を押さえながら言った。

「条件反射？」

「うん。ある刺激を与えたときにだけ起こる反射。早田先生からにらまれる。言うことをきく。という行動を繰り返して、それが佑の中であたり前になってしまってるのよ。もう、早田先生の目を見ただけで言いなりになる、みたいな」

姉の理子は、佑より四つ上の中学三年生だ。佑とはまったく違い、勉強がよくできる。小学校のころから自ら進んで塾にも行っていて、受験生の今は、学区で一番の高校を目指して猛勉強中だ。

「パブロフの犬の実験が有名よ」

「ああ、それならお母さんも知ってる。餌のときに、いつもベルの音をさせていたら、ベルが鳴るだけで、唾液が出てきちゃうってやつでしょ」

「そのうち、佑も先生の声をきいただけで、言うことをきくようになるんじゃないの。^⑤パブロフの佑」

血はつながっているのに、なんの類似点も見いだせない姉は、弟を犬扱いすると、

「まあ、それ便利ねえ。お母さんも出したいわ、ビーム」

母は、催眠術を使うほうに意欲を示した。

「えー、変なもん出すなよ」

つるんで好き勝手なことばかりを言うのは、母と姉の得意技だ。佑は下くちびるをつきだしたが、

「でも佑の場合は、メンチカツの袋で充分ね。さっきこれ見せたら、とんできたもの」

母が続けたのには、^⑥ぎくつとした。確かに宮本精肉店の袋を見ただけで、いつもよだれがこみ上げてくる。そして箸^{はし}を並べたり、お皿を運んだり、率先してお手伝いまでしてしまう。

すでに操^{あやつ}られてるし。

^⑦佑は絶望的な気分で、メンチカツを飲みくだった。

(まはら三桃「奮闘するたすく」より)

問 一、――線①「佑の全身は凍りついたようになった」とありますが、この時の佑の気持ちとして最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア、喜び イ、安心 ウ、怒り エ、恐怖

問 二、Aにあてはまる言葉として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア、または イ、しかも ウ、おそらく エ、たとえば

問 三、Bにあてはまる言葉として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア、うつかり イ、ぶらぶら ウ、ぺこん エ、こつこつ

問 四、Cにあてはまる言葉を文章中から五字で探し、抜き出して答えなさい。

問 五、——線②「佑はけげんに思ったが、一緒にいた一平は色めいた」とありますが、この時の二人の気持ちを表す言葉の組み合わせとして最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア、佑——動揺 一平——感動
イ、佑——不審 一平——興奮
ウ、佑——懷疑 一平——感謝
エ、佑——冷静 一平——夢中

問 六、——線③「佑のほうは顔をしかめた」とありますが、佑が「顔をしかめた」のはなぜですか。この時の佑の気持ちとして最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア、書くことに苦手意識を持っていたから。
イ、夏休みの宿題が増えてしまうから。
ウ、デイサービスに全く興味がないから。
エ、写真を撮るのが面倒だから。

問 七、D にあてはまる言葉を文章中から三字で探し、抜き出して答えなさい。

問 八、——線④「母はほれほれしたように言った」とありますが、それはなぜですか。その理由として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア、早田先生の目力の強さによって、いつも怠け^{なま}ようとする佑を改心させたから。
イ、早田先生の目力の強さによって、佑にレポートを引き受けさせたことに感心したから。
ウ、早田先生の目力の強さによって、佑の優柔^{ゆうじゆう}不断^{ふだん}な性格を直そうとしてくれたから。
エ、早田先生の目力の強さによって、佑に将来の道を示してくれたから。

問 九、――線⑤「パブロフの佐」を具体的に説明している部分を、「～こと。」に続くように二十字以内で抜き出して答えなさい。

問 十、――線⑥「ぎくつとした」の主語を文章中の言葉で答えなさい。

問十一、――線⑦「佑は絶望的な気分で」とありますが、この時の佑の気持ちとして最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア、早田先生の卑劣な策略によって、レポートを書くことになったから。

イ、早田先生と母を何とか見返してやりたいが、無理だとわかっているから。

ウ、早田先生に、これからも無理難題を押し付けられると思ったから。

エ、早田先生に加えて、母や姉にも操られている自分を自覚したから。

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。なお、設問の都合上、一部省略した箇所があります。

ふつう、集団で暮らすサルのおス同士には、たがいの力関係で決まる序列がありますが、ゴリラにはありません。ゴリラのグループには、ほか「核オス」と呼んでいるリーダーのシルバ^(注1)バックこそいますが、オスの間に序列はありません。

だから、ゴリラという動物は、たとえ争いを起こしても、力の強さや年齢や性別によって負けるということがありません。勝者も敗者も作らないのです。そういう「^①負けない構え」をゴリラは持っているのです。

A、^②ゴリラもケンカをすることはあります。以前、^(注2)ビーナツグループで、シルババック同士が^{いっしょくたぐはつ}一触即発の状態になったことがありました。二頭がにらみあつて戦いがはじまると思ったそのとき、子どもゴリラたちが両方にしがみついて止めに入りました。どちらか一方に加勢をするのではなくて、みんなで二頭を引き離そうとしたのです。シルババックも、自分より年下のゴリラやメスのゴリラに^{ちゅうさつ}仲裁をされれば、引き下がるほがありません。

ニホンザルは、ケンカがはじまれば、群れのほかのメンバーがどちらかに加勢をして、はっきり勝負をつけさせますが、ゴリラはむしろ仲裁を期待しているような節さえあります。自分には不満がある、納得していないということを表すために、戦う姿勢は見せる。でも、そうやって自己主張をすれば、とりあえず不満は解消するでしょう。だから、仲裁が入れば、それ以上は争わないのです。

一九九一年、^(注3)ぼくがザイルから日本に帰る予定だった三か月前、思ってもみないことが起きました。

その日は、多くの家族全員で、日本人の友人の研究者を隣国ブルンジ共和国の空港まで見送りに行っていました。見送りを無事に終え、わが家へ戻ろうとすると、ザイルの首都キンシャサで暴動が起き、各地に飛び火しているというニュースが、レストランのテレビから流れてきたのです。テレビには、人々が店を打ち壊している映像が映し出されていました。

すでに多くの人々が、国境をこえて脱出しはじめていました。ザイルでは、一九六〇年代に暴動が起きたときも、外国人の犠牲者^{ぎせいしや}がたくさん出ました。外国人であるぼくらは、お世話になった現地の人たちに別れも告げられないまま、ザイルを^{はな}発つことになりました。

(中略)

一九九六年には、ザイルでもついに内戦がはじまりました。家族で住んでいたザイルの村ルウィロでも、暴徒による略奪^{りやく}が起き、たくさんの知り合いがケガをしました。ゴリラを追っていっしょに森を歩きまわり、いろんな知恵を教えてくれた、ぼくが敬愛してやまなかった友人たちも、兵士の手にかかり、殺されてしまいました。

ゴリラたちが棲^すむ国立公園の近くに難民キャンプができると、公園の木が薪^{たきぎ}として切られ、ゴリラの棲みか^{おびや}が脅かされるようになりました。ド

ラミングや突進に恐れをなした兵士たちは、次々とゴリラに銃口を向けました。ぼくに優しい父親の顔を見せてくれたムシヤムカも、その息子で子育ての名人だったニンジャも、兵士や密猟者^{みつりょうしや}に撃ち殺されてしまったのです。

ぼくはつくづく思うのです。ゴリラは、ケンカがはじまれば群れのだれかがすぐに止めに入る I で穏やかな動物なのに、なぜ人間はこんなに傷つけあい、殺しあうのだろう、と。

今から六十年ほど前、人間は「攻撃」という動物としての本能を、狩猟^{しゆりやう}のために武器を使うことで高め、そのうち武器を人間にも向けるようになった、という説が発表されました。今でこそ、この説は研究者の間で否定されていますが、当時は多くの人に受け入れられました。今でも、戦争や殺しあいは、人間の本能だと考える人は少なくないかもしれません。

でも、ぼくは、^③ 争いは、もともと平和のためのものだったと考えています。

野球の試合などで納得のいかない判定が下ったとき、ベンチから監督が出てきて審判とやりあうことがありますね。いろんなケースがありますが、これもひとつの「争い」で、監督は納得がいかないことを主張し、審判は自分の判定を曲げません。ふたりの間に大勢の選手たちが割って入ると、監督が不承不承^{ふしやうぶしやう}引き下がることになります。

これはまさに、ゴリラのケンカと同じです。面子^{めんし}を保って争いをおさめるためには、ゴリラも人間も、いったんは自己主張をする「争い」の場が必要なのです。

およそ七百万年前に人類が誕生したときには、狩猟採集の生活を営んでいたと考えられています。

今でも、熱帯雨林の民ピグミーや、砂漠の民ブッシュマンは、狩猟採集の暮らしを続け、数百平方キロメートルから一千平方キロメートルほどのエリアを、食べ物を求めてあちこち移動しながら生活をしています。広大なエリアに点在する、食べ物がとれる場所をめぐっていくので、今の日本に住むわたしたちとはちがって、固有の土地や家を持ちません。

B、狩猟採集の生活では、たとえだれかとトラブルを起こして対立しても、別の場所に移動する、すなわち「離れる」という手段をとれば、それで解決します。ほとぼりが冷めれば、再びいつしよに暮らすこともできますし、戦争なんて起こりようがなかったのです。

ところが、今から一万年ほど前に、畑で育てた作物や、飼育した動物の肉を食べる農耕牧畜という生活スタイルが生まれてから、人々の関係は激変しました。

手間ひまかけて土地を耕し、作物や動物たちの世話を毎日続けて、ようやく食糧^{しよくりやう}にありつけるのです。トラブルのたびに土地を離れていては生活が成立しませんから、食糧の収穫が見こめる土地を仲間といっしよに「所有」することに、人間は執着しはじめました。

一度「所有」がはじまってしまうと、より豊かな暮らしを求めて、自分の土地を広げたいという欲望が生まれます。そうすると、人々の間で衝突^{しよく}やトラブルが生じて争いになります。その争いに勝つために武力を使いはじめたというのが、戦争の II だと考えています。

ぼくは、戦争には三つの原因があると思っています。

ひとつめは「所有」。ここまで説明したように、狩猟採集の暮らしでは、トラブルが起こったら土地を離ればよかったのですが、農耕牧畜の暮らしではそうもいきません。自分たちの土地だという「所有」の感覚が生まれることで、それをみんなで守ろうとする意識がはたります。その結果、争いが生まれるというわけです。

ふたつめは「言葉」。人間は言葉を持ったことで、「あいつらが敵だ」「わたしたちにこんな害をなした」と、敵や敵のしたことを明確に示すことができるようになりました。言葉がなければ、何かを具体的に指し示して相手に伝えることが難しいのは、みなさんも想像がつくでしょう。

そして、三つめは「^④アイデンティティー」。自分は「^{やまきわ}山極」という^{うじ}氏の一員であるとか、日本人であるというような、特定の集団に属しているという意識が人間にはあります。それは集団を離れてもずっと持ち続けられることが多いのです。属している集団があるということは、自分が属していない集団も存在するということで、こちらとあちら、味方と敵という区分けが簡単にでき、それが行動の基準になってしまっています。

C、戦争の原因として「^{かしよう}過剰な愛」があるのではないかといったら、^{とっぴ}突飛な考えに聞こえるかもしれませんが。しかし、もともとは家族を守るという「愛」から出発した力の行使が、村落のような共同体を守るためのものになり、果ては数千、数万、数億単位の「国」を守るためのものになったのではないかと、ぼくは考えています。

今、世界各地で戦争や無差別テロがひんばんに起こっています。家族や共同体のきずなが弱くなったことを無意識のうちに不安に感じている人々が、外に敵を作り出すことによって内部で団結し、愛を確かめようとしているように、ぼくには見えます。そうやって、人間同士が傷ついているのだとしたら、^⑤これほど悲しいことはないと思いませんか？

ゴリラの^{（注5）}ドラミングや突進が自己主張のためにあるのと同じように、本来、人間の争いも、殺しあい発展するものではなく、自己主張しつつも平和的に決着をつけるためにあったのではないのでしょうか。

（山極寿一「ゴリラは語る」より）

（注1）「シルバーバック」……ゴリラの集団の中心となる、背中白いオス。

（注2）「ビーナツグループ」……筆者が名付けた、行動を共にするゴリラの集団の一つ。

（注3）「ザイル」……現コンゴ民主共和国。一九七一年から一九九七年まで国名として用いられていた。

（注4）「面子」……世間に対する^{ていざい}体裁。

（注5）「ドラミング」……ゴリラが自分の胸をたたいて相手を^{いかく}威嚇する行為。

問 一、——線①「負けない構え」とはどういうものですか。その説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア、勝敗に関わらず、自尊心を守るために堂々とふるまう態度。

イ、力関係に左右されず、争いそのものを社会的に終息させようとする姿勢。

ウ、相手に勝つことを目指す一方で、相手の立場も尊重する態度。

エ、争いが始まらないように、常に集団のルールや地位を守ろうとする姿勢。

問 二、
A C にあてはまる言葉として最も適当なものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア、だから イ、でも ウ、さらに エ、もちろん

問 三、——線②「ゴリラもケンカをすることはあります」とありますが、筆者がゴリラのケンカについて述べた意図として最も適当なものを、次から選び、記号で答えなさい。

ア、ゴリラも人間も、争いを通じて群れの秩序を保っていることを示すため。

イ、人間の争いは、感情的に暴走する傾向があることを示すため。

ウ、争いはどの社会にも存在し、社会を存在させる前提であることを示すため。

エ、人間の争いが、ゴリラよりも本能的であることを示すため。

問 四、
I にあてはまる言葉を、文章中から二字で探し、抜き出して答えなさい。

問 五、――線③「争いは、もともと平和のためのものだった」という表現は、一見矛盾しているようにも見えます。この表現が矛盾しない理由について説明した次の文の空欄にあてはまる言葉を、文章中から指定された字数で探し、それぞれ抜き出して答えなさい。

争いは

1、二字

 を深めるためではなく、

2、七字

 ための手段であり、

3、二字

 によって平和に戻るための行動であるから。

問 六、

Ⅱ

 にあてはまる言葉として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア、原因 イ、起源 ウ、背景 エ、目的

問 七、――線④「アイデンティティー」とありますが、本文の定義に沿った「アイデンティティー」の例として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア、かつて自分が所属していたクラブチームを今は卒業生として応援すること。
イ、人類は他の動物よりも知能が高いと科学的に証明しようとする事。
ウ、クラス対抗リレーで、自分のクラスだけでなく、他のクラスも応援すること。
エ、人前で話すときに緊張してしまう自分の性格を、自分の個性として受け入れること。
オ、母親として、家庭では子どもの自主性を尊重しながら育てること。

問 八、――線⑤「これほど悲しいことはない」とありますが、その理由を「くから。」に続くように、文章中の言葉を使って二十五字以内で書きなさい。

問 九、文章中で述べられている筆者の主張として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア、ゴリラは争いを通して群れの結束を強めるため自己主張をする。

イ、人間が争いを避けるためには、愛と理解を持つて相手を受け入れる姿勢が必要である。

ウ、人間が争いを激化させるのは、他者と区別された自我を持ち、論理的思考を深められる存在だからである。

エ、自己主張は、破壊ではなく関係性の再構築を促す対話的な営みである。

三

九	八	七	六	五			四	三	二			一
				3	2	1			C	B	A	

二

十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一

一

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

〈受験生はこれより上段には記入しないこと〉

三

問一

問二

A

B

C

問三

問四

問五

3

2

1

問六

問七

問八

20

25

10

から。

問九

二

問一

問二

問三

問四

問五

問六

問七

問八

問九

20

10

へと。

問十

問十一

一

音

色

告

示

拡

大

官

舎

健

気

ユ

ラ

イ

ヨ

チ

ソ

ク

テ

イ

ケ

イ

ト

ウ

オ

（

い

）

い

6

1

7

2

8

3

9

4

10

5

2026年度

帰国生入学試験問題

〔国語〕

解答用紙

注意事項

・解答は解答欄の枠内に濃くはつきりと記入して下さい。
・解答欄以外の部分には何も書かないで下さい。

氏名

受験番号

0	0	0	0
1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9

評価点